

---

# **僕の好きなアニメ＆ゲームのキャラで逃走中！～王国に迫る危機～**

i z u m i

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕の好きなアニメ&ゲームのキャラで逃走中！～王国に迫る危機～

### 【Zコード】

N7073X

### 【作者名】

izumi

### 【あらすじ】

「僕の好きなアニメ&ゲームのキャラで逃走中！」第3弾！今回の舞台はとある王国！平和でのどかな王国に危機が迫る…。そして、裏で暗躍する謎の人物の正体は！？果たして、逃走者たちは、無事、ハンターから逃げ切り、賞金を獲得できるのか！？

## プロローグ（前書き）

はい、どうもi n u m iです！

ついに始まつた「僕の好きなアニメ&ゲームのキャラで逃走中！」

第3弾！

今回も頑張つてこきますのでよろしくお願いしますー！

## プロローグ

此処はとあるビルの一室。そこには今宵がいた。

今宵「やはりゲームマスターを任せられるのは緊張するものだな…」。

そして今宵はモニターを確認した。

今宵「さて…今回も楽しませてくれよ…。」

今、今宵が見ているモニターには…。

『the city』

『the edo』

『the kindam』

『night amusement park』

の4つが表示されている。

今宵「では、ゲームスタートだ。」

今宵は表示されている『the king and a man』をためらいもなく押した…。

## プロローグ（後書き）

活動報告でも書いたとおり、今はいろいろバタバタしています。  
なので今のところは投稿ペースが遅くなると思います。

でも頑張って投稿していきます！

なのでよろしくお願ひします！

## 逃走者紹介（前書き）

今回の逃走中に参加する逃走者たちです。

前回の人数よりは少ないです。

訂正 一部の逃走者の説明を変えました。

ある程度は他の作者さんからの逃走者紹介を参考にしています。  
(特にぶよぶよ勢)

## 逃走者紹介

### 逃走者紹介

『魔法少女リリカルなのはStrikerS』

高町なのは

「エース・オブ・エース」の称号を持つ若手トップエリート魔導師。前々回参加した時はヘリに見つかり確保された。今回もミッションには積極的に参加する。

フェイト・T・ハラウォン

なのはの幼馴染で親友。

前々回は前半のあたりで確保された。今回は長く生き残りたいと思っている。

八神はやて

守護騎士ヴォルケンリッターを従える魔導騎士。

前々回はミッション3の途中で確保された。

シグナム

ヴォルケンリッターの将。責任感が強く、ミッションには絶対に向かう。足はかなり速い。

**ヴィータ**

ヴォルケンリッターの一人。足は遅く、ミッションは他人任せ。

**シャマル**

ヴォルケンリッターの一人。足は遅いがミッションには向かう。

**スバル・ナカジマ**

機動六課に所属している少女。ミッションには向かう。足はかなり速い。

**ティアナ・ランスター**

スバルのパートナー。足は速いが、ミッションには向かわない。

『とある魔術の禁書目録』

**上条当麻**

学園都市に住む右手に「幻想殺し（イマジンブレイカー）」の力を持つ少年。

前回は装置を止められず、ハンターに確保された。ミッションには向かう。

**インデックス**

魔術師の少女。前回はいい所を見せられず、確保された。  
今回もミッションには向かわない。

### 御坂美琴

超電磁砲の異名を持つ少女。前回はハンターと鉢合せになり、確保された。

ミッションには絶対に向かう模様。

### 白井黒子

常盤台中学校の1年生で第177支部所属の「風紀委員」。ジャッジメント足は速く、ミッションには参加する。

### 『東方Project』

### 博麗靈夢

幻想郷で一番強いと言われている博麗神社の巫女。足は普通で、ミッションには行く。

### 霧雨魔理沙

幻想郷の魔法の森に住む魔法使い。足は速く、ミッションにも向かう。

### 十六夜咲夜

紅魔館のメイド。身体能力は高く、ミッションにも向かう。

レミリア・スカーレット

紅魔館の主人で吸血鬼のお嬢様。足は普通で、ミッションは行く。

フランデール・スカーレット

レミリア・スカーレットの妹。足は普通で、ミッションは他人任せ。

アリス・マーガトロイド

魔法の森に住む魔法使い。足は普通で、ミッションは行かない。

『大乱闘スマッシュブラザーズX』

マリオ

おなじみのスーパースター。

前回は1stステージを突破するも2ndステージのミッション5の途中で確保。

今回も頑張りたいと思っている。

ルイージ

マリオの弟。前回はハンターに見つかり、確保された。

今回もハンターが怖いのでミッションには行かない。

アイク

グレイグ傭兵団の団長を務める剣士。

前回はミッション5の途中で確保。

今回は二度目の正直と言つことを信じて逃走成功を狙つ。

スネーク

「不可能を可能にする男」と呼ばれる男。

前回はミッション3の途中で確保された。今回も逃げ切つて逃走成功を狙つ。

『ふよふよ』

アルル

遠い世界から飛ばされた魔導師見習いの女の子。足は速く、ミッションにも積極的。

シェゾ・ウイグイイ

アルルの魔導の力を狙う闇の魔導師。足は速いが、ミッションは行かない。

ルル

自称サタンの婚約者の格闘女王。足はかなり速く、ミッションにも参加する。

ウイッチ

プライドが高く、自分に正直な性格の魔女。足は普通で、ミッションは状況次第で参加。

### ドリケンタウロス

美少女コンテストに情熱を燃やす半竜半人の女の子。足は速く、ミッションにも参加する。

### アミティ

プリンプタウンの魔導学校に通う明るい女の子。足は速く、ミッションにも参加する。

### ラフィーナ

良家のお嬢様で誰に対しても高飛車かつ高圧的な唯我独尊系少女。足はかなり速く、ミッションにも参加する。

### シグ

虫を愛好する非常にマイペースな少年。足は遅く、ミッションには興味無し。

### リデル

頭のツノを気にしている亜人間の女の子。足は遅く、恥ずかしがりやなため、ミッションには行かない。

### クルーケ

成績優秀だが、他の生徒を見下している自意識過剰でイヤミな性格の生徒。足は遅く、ミッションには向かわず自首を狙っている。

### フューリ

プリンプタウンの鱗町の学校に通う生徒で、自分の世界にどっぷり漬かり込んでいるダークな少女。足は遅く、ミッションには行く。

### レムレス

フェーリの先輩に当たる、学生ながら非常に優秀な魔導師で、彗星の魔導師を名乗る学生。足は普通で、ミッションは行かない。

### サタン

自称・魔界の貴公子。足は普通で、ミッションは他人任せ。

以上の35人で逃走中を行つ。

## 逃走者紹介（後書き）

上条当麻・御坂美琴・アイクが三回連続の参戦！

今回こそ逃げ切れるのか！？

そして、実力未知数のサタンにも注目！

## Haria 詳説（前書き）

今回のHariaです。

前回みたいにあいまいな感じではなくイメージしやすいように書いてみました。

いつもやって書くと自分でもどんな感じなのか想像しやすい。

## エリア詳説

### エリア詳説

今回逃走者たちが逃げるエリアの舞台は伝説の剣士が存在していたと伝えられる『ある王国』。

中世の街並みっぽい建物が印象的な王国である。

この国は水路が敷かれており、水路には移動手段として、船が通りしており、水路沿いの道がある。

エリアの広さは東京ドームの約7個分。

エリア中心から見て北西の位置に『王の城』があり、エリア中心部にはこの国の住民が平和に暮らしている『城下町』がある。王の城の近くには不思議な力があると伝えられている『神秘の噴水』がある。

城下町の南側にはいろいろな物が売られている市場が開かれている、北西側にはたくさんの財宝などがある『宝石の館』がある。そして、王の城の近くには、漁船などが停泊している『港』と、離れ小島をつなぐためにある『跳ね橋』がある。

そして、エリアの北側には広大な森が広がる『縁の森』があり、隠れ場所としては最適の場所である。

その森の中心にはお祝い事やお祭りがあるときに使用される『パーティーグラウンド』がある。

そして、南東側には風車が印象的な『花園の丘』がある。

此処は風車以外に目立つた建造物は無く、隠れるのは困難である。

ちなみに、王の城と城下町、緑の森、花園の丘の間には水路があり、  
その間には橋が掛けられてある。

## エリア詳説（後書き）

なんとか頑張りました…。

次回はついに、OPゲーム…。

## オープニングゲーム（前書き）

エリア詳説を確認してみたりちょっと自分の想像していたエリア構成とは違う所があつたので修正しました。

では、恐怖のオープニングゲーム、スタートです…。

## オープニングゲーム

漆黒の闇の中、王の城がきらきら輝く下、35人の逃走者たちが集められていた…。

アルル「もうすぐだね…。」

サタン「アルル！ いざという時はこの私が…。」

シェゾ「いや、この俺が…。」

アルル「もう一人とも！ ボク一人でも大丈夫だよ…。」

なのは「頑張るうねフェイトちゃん。」

フェイト「うん、なのは、頑張るう…。」

アリス「早くしてくれないかしら…。」

アイク「今回こそは絶対に逃げ切るぞ…。」

シグナム「もうすぐか…。」

逃走者たちそれが氣を引き締めている中、スピーカーから不気味な声が聞こえてきた。

『これより、ゲームを始める。』

サイコロ「いよござだわ…。」

美琴「始まるのね…。」

『君たちの前に置いてあるサイコロの目は2から6の目とハンターの目がある。』

逃走者たちが協力して、ハンター ボックスを30マス以上進めることができれば逃走者たちに1分間の猶予が与えられる。

しかし、ハンターの目を出せばハンターが解き放たれ、ゲームがスタートする。』

逃走者たちがこれから挑むのは、恐怖のオープニングゲーム！

逃走者たちとハンターの距離はおよそ30メートル。

逃走者たちは一人ずつ、サイコロを振らなければならぬ！

サイコロには2から6の目とハンターの目がある。

逃走者たちは協力してハンター・ボックスを20マス以上進める」と  
ができれば1分間の猶予が与えられる。

しかし、ハンターの目を出した瞬間、ハンターが放出。ゲームが始  
まる…。

なお、サイコロを振る順番はくじ引きで決まっている。運任せだ…。

全員「いつせーの、で！！」

カシャン！

マリオ「ええと… 14番か…。」

フラン「ええ！？ 3番！？ 一番危ない所じゃん！！」

レミリア「私は25番だわ…。」

スバル「8番！ ティアナは？」

ティアナ「あたしは10番だわ。スバルの2個次ね。」

シグ「おおー。34番。」

一人目 ルル！

ヴィータ「いきなり出さないでくれよ！」

ルル「そんなの分かんないわよ！」

そう、このオーナーングゲームに必要なのは...運だ。

川川！——でも逃げる準備はしつついたほんかしわよ？

「アーティストたち」

「逃げる準備つと...」  
ヴィータ

ルルー 行くわよ

果たして ケリアか ハンタリ 放出か ?

川川一  
やあ！

ルルーが投げた。

トニシ—UNION。

ルイージ「一発皿とかやめてよね。」

サイコロの…。

スケルト…。

ルルー「お願…。」

皿…！？

スケルト…。

全員「…。」

サイコロの皿…。

「5」だ。

全員「怖い！…！」

ルルー「なんとか出でずにはんだわ…。」

ハンター ボックス、5マス接近…。

ガガガ…。

サタン「うむ…思つた以上に来るな…。」

クリアまで、残り15マス！

二人目 博麗靈夢

靈夢「絶対に此処で捕まりたくないわ…。」

魔理沙「靈夢ーー絶対にクリアしろよー。」

靈夢「当たり前でしょー。」

幻想郷で一番強と言われてこの博麗靈夢、その運はいかに。

靈夢「行くわよ。」

クリアかハンター放出か。

靈夢「はあー。」

ひょい〜。

果たして、出るのな。

トニンガーリング。

アルル「怖いよ。」

数字の田か。

。ルルルルルル

せやべ「…。」

ハンターの田か…！？

ルルルルルルルタ…。

全員「…。」

出た田か…。

「3」だ。

靈夢「危なかつたわ…。」

ハンターボックス、3マス接近…。

クリアまで、残り12マス！

三人目 フランドール・スカーレット

フラン「ちょっとこれは厳しいかも…。」

レミリア「大丈夫よ、フラン！6分の1だから！」

もし、ハンターの目を出せばその瞬間ハンターが放出、恐怖のゲームが始まる！

フラン「そうだよね…。じゃあ行くよ…」

クリアか…ハンター放出か…。

フラン「えーーー！」

ひゅう…。

リデル「お願い…。」

果たして…。

アハハ…。アハハ…。

エヌのエ…。

フクノ「あー…やがて…」

マコト「うわわわ…」

アリス「わざわざ回り…」

ハンターの田か…？

ピタ…。

金圓「…」

サイコロの目は…。

「6」だ。

フラン「やったあああ……！」

アリス「一番いい目じゃなーい？」

アイク「よし、もうひとつとでクリアできるーー！」

ハンター ボックス、6マス接近…。

クリアまで、残り6マス！

次の一手でクリアできる可能性ができた！

シグ「おお～…。」

レムレス「次6の目を出したらクリアなんだね？」

この重要な局面で回ってきたのは…。

四人目 ウイッチ

ウイッチ「近づきますの…。」

ラフィーナ「あの距離で出たら危ないんじゃないの？」

もしこの距離でハンターの田を出せば犠牲になるのは一人では、済まない！

ウイッチ「行きますわよ！」

クリアか…ハンター放出か…。

ウイッチ「それ！」

ひゅう…トシッ！ いふいろ…。

果たして…。

美琴「こんな所で出てほしくないわね…。」

「うーん、手で…。

…うるさい。

ウイック「お願ひですか…。」

クリアとなるか…? ?

ピタ…。

ウイック「…」

金曜「…」

サバ口の皿…。

「4」だ。

ウイッヂ「クリアとまではいきませんでしたが…。」

ハンター・ボックス、4マス接近…。

ガガガ…。

当麻「うわあ…近いって…。」

ドラゴ「もう田の前じやん！」

フェイト「次が重要だよね…。」

クリアまで、残り2マス！

サタン「次で決まるのか…。」

このオープニングゲームクリアの運命を握るのは…。

五人目 レムレス

彗星の魔導師、レムレスに託された！

レムレス「まさか僕の所まで来るのはね…。」

フューリ「先輩…。」

レムレス「大丈夫、クリアして見せるさー。」

もし、この距離でハンターの田を出せば、4体のハンターがレムレスに襲いかかる！

レムレス「それじゃあ行くよ…。」

クリアか…ハンター放出か…！？

レムレス「やあ…。」

トンシ…JNRIJNRI…。

オープニングゲームを…。

フューリ「お願い…。」

クリア…。

「うううう…。

レムレス「微妙だね…。」

できるか…！？

「うううう…。

インテックス「大丈夫だよね…。」

「うううう…ピタ…。

全員「…！」

サイコロの皿は…。

「3」だ。

レムレス フ ハー ハー 危ない 危ない ハー

オーブニンゲームクリア！

これで、逃走者たちに1分間の猶予が与えられた！

「タイマー」

力子。

- 95 -

レミリア「クリアできてよかったです。」

スネーケー 幸先がいいな

逃走者たちはこの1分間、なるべくハンターボックスから遠くに逃げる！

42

シエゾ「隠れる場所がないな。」

アリス「とりあえず…此処にいましょう。」

- 30 -

ハンター放送局で...あと30秒!!

シヤムル「これ……做不到……！」

アミテ・ホリ! 隠れる場所が少ないよ!!

1  
2  
3

サルシ 此處で少し様子を見るが…

1  
5

シグー おおへい所。

11

スタッフ、ハンター放出まであと10秒近くです。

ティアナ「えつ！？もうすぐ10秒！？」

ハンター放出まで…。

6  
!

7  
!

8  
!

9  
!

10  
!

1  
!

2  
!

3  
!

4  
!

5  
!

プシュー！ガコン！

恐怖のゲームが、幕を開けた…。

アイク「始ました！」

シグナム「ハンターが放出されたか…。」

フューリー「…走っているわね…此処から離れましょ…。」

シェゾ「ついに始ました…。」

クルーケ「此処に隠れてく…。」

ウイッチ「ついに始まりましたわね…。」

魔法使いの少女の、ウイッチ。

ウイッチ「一人前になるためならこのくらいはクリアしますわよー。」

逃走成功を目指す！

当麻「始まりましたねえ…。」

3回行われた「僕の好きなアニメ&ゲームのキャラで逃走中！」のすべてに参加している逃走者の一人の上条当麻！

当麻「3回も出ていますからね…パターンとかは大体はわかつてきましたよ…。」

アイク「もちろん目標は逃走成功！」

こちらも3回すべてに参加しているアイク。

アイク「自首なんて最初から考えていない！最後まで逃げ切る！」

自首する気は、無いようだ…。

サタン「今は…1万円か…。」

ふよ地獄を創造したボスらしい自称・闇の貴公子のサタン。

サタン「アルルとはぐれてしまったが…まあいい、そのうちにまた会えるだろう。」

果たして、その実力は！？

シェゾ「今は…此処か…。」

現在、城下町にいるシェゾ・ウイグイイ。

シェゾ「とりあえず周りの状況を把握しておこうか…。」

マリオ「ハンターはやつぱり怖いからな…。」

王の城付近にいるマリオ。

マリオ「逃げるルートを確保しておいた方がいいからな…。」

その彼の近くに、ハンター…。

マリオ「此処は…無理か…」の先だな…。」

ハンター「…。」

マリオ「この先を曲がって行けばいいのか。」

ハンター「…。」

見つかった…。

マリオ「じつからほじつけ…って来てる…。」

ハンターに見つかったマリオ、振り切れるのか!?

ボン  
アリヤ  
雀呂  
ミヤ  
三  
一  
八

マリオ 確保 残り 34人

マリオ「ちょっと待てよ……いきなりかよ……嘘だろー！？」

スーパースターが開始早々、ゲームから、脱落…。

マリオ「うわあ～…ルイージになんて言われるかな～…。」

アリス「夜だからハンター見えにく「ピリリー・ピリリー」な、何よ！見つかっちゃうじゃないー！」

ルイージ「えええー！？『王の城付近にてマリオ確保。残り34人。』って、兄さん早すぎるよー！」

アイク「え…まだ…始まつて5分も立つていないぞ！？」

ハンターから逃げた時間に応じ、賞金を獲得できる、それが…。

リデル「わあ～…お城が奇麗に光っています～…。」

なのは「あ～、兵士さんたちだ～…王国だ～…。」

今回の舞台は、海に浮かぶとある王国…中世の建物が立ち並ぶこの王国には伝説の剣士が存在していたと言われる伝説がある。

広さは東京ドーム7個分。このHリアの中を34人の逃走者が、逃げ回る。

フラン「うわあ…どんどん賞金が上がっていいくよ…。」

賞金は1秒100円ずつ上がり、ゲーム時間160分を逃げ切れば賞金96万円を獲得できる…！

フューリー「自主…危なくなつたらその選択肢も考えてあるわ…。運命にはやつした方がいいと出でているわ…。」

クルーク「最後まで行く気はないわ。いい金額になつたら自首しようと思つてる。」

さらば、このゲームでは自首も可能！Hリア内に設置されてる自主用電話ボックスから自首を申告することでゲームから離脱、それまでの賞金を獲得できる。

しかし、エリア内には4体のハンター。

ハンターに確保されればその時点で失格、賞金も、0。

ゲーム残り時間 158分30秒 残る逃走者 34人

## オープニングゲーム（後書き）

今回一番長いかも…頑張った方です。

かつやくハンターによつて確保者が出でしました。

次回、王国に迫る危機…。

## 通達1（前書き）

すいません、エリアを追加します。

エリア追加

王の城、城下町に『町広場』を追加します。

町広場は他の所と比べると開けた場所でハンターに見つかりやすい。

ちなみに王の城と城下町の間に水路はありません。

城下町に『並木通り』を追加します。

並木通りはその名のとおり、道のわきに木が植えられています。

はやて「いやあ～まさかまた出してもらひえむとはなあ～。」

前々回モードの逃走中に参加したハ神はやて。

はやて「前はアカンかつたけど今回モードは逃げ切るで～。」

逃走成功を目指す。

シグナム「この逃走中に参加できるなんて…光榮だ。」

ヴォルケンリッターの将、シグナム！

シグナム「主はやてが参加したゲームだと聞いてな…どんなものか  
気になっていたのだ。出さしていただいた以上は楽しまなければな。

」

シグ「う～ん…。」

現在、緑の森に隠れているシグ。

シグ「いい所まで行つたら自首しようかな～…。僕そんなに行ける  
とは思わないからな～…。」

自首を狙っている。

靈夢「これが逃走中と言つものなのね…。」

幻想郷で一番強いと言われる巫女、博麗靈夢…

靈夢「外の世界ではこんなものがはやつているのね…。」

ルイージ「まさか兄さんが一番最初に捕まつてしまつなんて…。」

先ほど確保されたマリオの弟、ルイージ。

ルイージ「兄さんの為にも絶対に逃げ切らないと…。」

そのルイージの近くに…。

ルルー「Jのあたりはちよつと入り組んでいるわね…。」

ルルーだ。

ルイージ「えーと…あつ、ねえ、ハンターいたそっちに?」

ルルー「いいえ、今のところは見かけていないわ。」

ルイージ「そう、ありがど。」

ルル「兄みたいに捕まるんじゃないのよ!」

ルイージ「分かってるよー!」

アルル「このあたりは危ないかな…ちょっと見えすぎだし…。」

町広場にやつってきた魔導師のタマゴ、アルル・ナジヤ。

その近くにハンター…。

アルル「う~ん…あつ、ハンター!不味い不味い…。」

急いで建物の影に隠れる。

ハンター「…。」

アルル「…。」

ハンター「…。」

見つからなかつたようだ…。

アルル「ふう~危ない危ない…でもシェゾとかサタンは大丈夫なのかな?」

シェゾ「此処は…水路沿いの道か…。」

水路沿いの道にやつってきたショゾ。向かう先に……。

サタン「……闇の魔導師……。」

サタンだ。

ショゾ「……！」

サタン「なぜ貴様がこんな所に……。」

ショゾ「それはまじめの口説だ……。いいか、俺はお前よりは絶対に逃げてやるー！」

サタン「その言葉、そつくり返せさせてもらひやつか。」

ショゾ「ふん、せいぜい頑張るんだな。」

サタン「貴様……。」

スタッフ「仲が悪いですね……。」

ショゾ「当たり前だ。あのねつたとほー度と会いたくないな。」

サタン「あいつに負けるなど考えられん。」

フーリ「それにしても……きれいなお城ね……。」

お城を眺めるフューリ。

「お城には、この王國の国王がいる。」

住民は平和にこの国で暮らしていた。

国王（演・新川）「ふふっ、今日も平和じゃな……。」

大臣（演・KAHIO）「陛下、今日ものどかですね。」

国王（演・新川）「ああ、平和が一番じやな……。」

そして、その影では……。

? 「あんな国王にこの国は任せられない……この私が国王に就いてこの国の王になつてしまふ……。」

謎の人物が、国王の座を狙っていた。

謎の人物は、王の城の最上階に出て、松明をさげた。

王の城から、煙が上がっている……。

そして、この煙がある者へのサインだった……。

船長（演・涼宮ハルヒ）「なるほど…次はあそこね…。」

船員（演・キヨン）「あそこには『宝石の館』と言われるお宝があるそうです。」

船長（演・涼宮ハルヒ）「よーし…お宝は全部、この海賊『パイレーツ』がすべていただくわ！」

海賊が、エリアに接近する…。

そして、エリア内に逃走者の運命を分けるものが登場した…。

ピリリリ…ピリリリ…。

アイク「何だ?メール…『通達1』…なんだ…?」

レミリア「『エリア内に宝箱を設置した。』『宝箱…?』

スバル「『宝箱の中には逃走に有利なアイテムが入っている。』『』

レムレス「『しかし、ひとつだけ開けると大変な物が入っている。』『大変なもの…?』

アルル「『宝箱は残り120分までしかエリアに設置されない。そして宝箱は6個しかない。早い者勝ちだ。』『』

インデックス「アイテムだつて!」

通達1 アイテムを入手せよ！

エリア内に宝箱が設置された。

中には逃走に有利なアイテムが入っている。

しかし、ひとつだけ、開けると大変なことになるアイテムが入っている。

ちなみに宝箱の位置は逃走者たちには伝えられていない。

宝箱は残り120分になると消滅する。

数は6個のみ。早い者勝ちだ。

魔理沙「アイテムか？…興味あるな、取りに行つてみるか！」

サタン「有利になるんだつたら行つてみる価値はあるな…。」

ドラゴ「よーし、取りに行くぞー！」

フェイト「行つてみようか…。」

アイテムを取りに行く逃走者たち！

宝箱は残り120分になると消滅する。それまでに取りに行かないといけない！

当麻「どうしようかな…。だってさ、近くにいる人がアイテム取つ

てしまつたらむづかで終わりなんだろ?」

ティアナ「行くわけ無いでしょ!/?絶対にこんなのは信じない!」

スネーク「この「開けると大変になる物」が気になるな…。」

なのは「開けると大変な物…ハンター?」

サタン「…」んな所にあつたか…。」

最初に宝箱を見つけたのはサタン。

サタン「さて、中身は…。」

ガタッ

サタン「これは…一体なんだ?」

中に入っていたのは黒い銃だった。

サタン「何々…『冷凍銃』…。」

中に入っていたのは『冷凍銃』。これを使えばハンター1体をゲー  
ムから除外できる。

サタン「いいものが入っていたな。よし、じゃあハンターを除外しに行くか！」

サタン、ハンターを除外するためにハンターを探しに向かう。

アイク「これが宝箱か…？」

アイクも宝箱を見つけた。

アイク「一体何が入っているんだ？」

ガタツ

アイク「…？捕獲網…？」

中に入っていたのは『捕獲網』。これをハンターに向けて使えばハンターの動きを1分間止めることができる。

アイク「よし…ピンチの時に役に立つな！逃走成功できそうだ！」

捕獲網を手に入れたアイク。心強い物を手に入れた。

ルイージ「おっ！」それがそうか！」

ルイージが、サタンやアイクが見つけた宝箱よりもひときわ大きい宝箱を見つけた。

ルイージ「でもこんなに大きかつたら何かいやなことがありそうだな～…まあいいや、開けてみるか。」

果たして、その中身は？

ルイージ「よつと。」

ガタッ

ハンター「！」

ルイージ「ぎょえ～！？」

なんと、中に入っていたのは『ハンター』！「開けたら大変になる物」とはハンターのことだったのだ！

至近距離のため、逃げれるわけもなく…。

ルイージ「ひゃああ～！！」

ポン  
ルイージ 確保 残り 33人

ルイージ「え～中にハンターが入つてたの～！？あんなのアリ～！？」

確保されてしまった。兄弟一人とも牢獄行きだ…。

フラン「『港付近にてルイージ確保。残り33人。』」

スネーク「おいおいあいつら何やつてんだよ…。」

アイク「『そして、ルイージがハンターが入つっていた宝箱を開けてしまつたためハンター1体追加。合計5体となつた。』ええ～！？ふざけんなよ！…」

当麻「いらん」としてくれたな…。」

インデックス「あ、でもこれつて逆に言えばこれから開けるすべての宝箱は安全つてことなんだ。」

十六夜「ちょっと取りに行つてみますね。」

ラフィーナ「何やつてんのよ…。」

メールを見て文句を言つラフィーナ。

その近くに……。

ハンター「…。」

ハンター「…。」

ラフィーナ「もう……！ハンターいますわ……。」

ハンターを見つけたラフィーナ。ハンターもラフィーナの姿に気付いた。

ラフィーナ「わたくしになめてかかりますと痛い目にありますわよ！」

町の角を使い、ハンターの視界から消える。

ハンター「…？」

見失ったようだ……。

ラフィーナ「なんとか行けましたわ……。」

なのは「これが宝箱……？」

宝箱を見つけたのは、そこに…。

シェゾ「ほう…これが宝箱か…。」

シェゾがやつて來た。

なのは「あ、シェゾ君。」

シェゾ「その中身は一体何なんだ?」

なのは「これから開ける所なんだよ。ちょっと開けてみるね…。」

一体何が入っているのか?

なのは「何かな…。」

ガタツ

なのは「…?地図?地図が入っていたよ?」

中に入っていたのは『秘密の地図』。ビニの地図かは不明だ。

シェゾ「…おい…。」

「え、何?」

シェゾ「お前が…欲しい！」

なのは「えええええ——！？？」

シェゾ「…あつ、「お前の持つている地図が欲しい」と、眞面目と  
したが…間違えてしまった。」

なのは「あ、やうなのは……」。

シユゾ「……なるほど……。」

なのは「何かわかつた?」

シユゾ「エリヤー今逃げて居るヒリアとは違う場所らしい。地形を見る限り、手渡された地図の地形と合わないな。そして此処に印がある。おそらくここに何かあるんだと思う。」

なのは「ルウの...でもない」の地図だらう。」

ショゾ「わあな。」

なのは「所での発言は何?」

シェゾ「ああ…俺は気が高くなると言葉を間違えてしまつんだ…。  
だからいつも勘違いされてしまうんだ…。」

なのは「思ひ通り間違えてこらね」。

フロイト「一なのはが誰かのものになるような台詞が聞こえて来た  
よつな…。」

スタッフ「気のせいじゃないですか？」

フロイト「うへん…そりかも…。」

次回、逃走者に危機が迫る…。

## 通達1（後書き）

初めて挑んだドラマパート！

やつぱりグダグダになりました！

そしてショゾは二つも通つることを書いています。

次回、ミッション発動！

# MISSHOZ? 1 (前書き)

シェゾ「おい作者。」

あ、  
シェゾ。  
何？

シェゾ「前回はよくも俺に恥をかかせてくれたな…（怒）。

え、いや、ちよつと街でよシロゾ君に

シヨヅー待つと言われて待つ者はいない……。

シェゾ「ふん、自分の罪の重さを知るが良い。」

「ウイッチ、『作者がやられたので私がコールしますわ。』では逃走中、  
はじまりますわ。あ、あと……。」

シェゾ「なんだ?」

「ウイッヂ「前のネタが結構評判良くていろいろな作者さんから感想が来ていましたわよ。」

シェゾ「何い！？」

## MISSION? 1

現在のゲーム残り時間 152分11秒。

残る逃走者 33人

現在2人の逃走者が確保され、残るは33人となつた。

果たして、逃げ切るものは現れるのか！？

フラン「やつと言えばアイテムがひつたのかしら……？」

現在宝箱は4つ開けられており残るは2個となつている。

フラン「でもどこにあるかわからないし……。」

シェゾ「くそつ……また言つてしまつた。」

現在宝石の館付近にやつてきたシェゾ。

シェゾ「今度からは気をつけないとな……。」

と、そこそこ…。

ハンター「…。」

ハンターだ…。

シェゾ「…。ハンターか…。」

いち早くハンターに気付いたシェゾ。

ハンター「…。」

ビリヤーからハンターには気がつかれていない。

シェゾ「不味いな…距離を取つておくか…。」

急いで距離を取る。

ハンター「…。」

無事、気付かれなかつたようだ。

シェゾ「あぶねえ…。」

この王国に海賊が向かつてゐる中…国王は…。

国王（演・新川）「ちょっと覗いてみますか…。」

呑気に住民たちのことを観察していた。

国王（演・新川）「今日も平和ですね…？あれは何でしょつか…？」

国王が見つめる先には緑の森のパーティー広場に置かれた謎の木箱…。

国王（演・新川）「不思議な物ですね…。」

そして…。

今宵「…」うちの設置は完了したな。後は…これだけかな…。」

そして、町広場に3個のハンターBOXが出現した…。

今宵「…」しかし今回の逃走中…自首の方法を少し変えた方がよかつたな…。」

そして、此処は別の場所…。

? 「おい、ハンターの機密ファイルはコピーできそうか？」

? 「…」いえ、ロックが掛けられていて、今のところは…。」

? 「…」うか…あのハンター機密ファイルは我々の計画に必要なのだ。一刻も早くコピーしない。」

? 「は、はい！」

? 「しかし…」コピーしたとなると此処の居場所を探られてしまう…。

人質が必要だな……そうだな……やつの逃走中にすべて出ている逃走者なんかが適任か……。」

謎の影が動いていた……。

כטבְּרָנְדָה

なのは「何々メール?」

スネーク - ミッショントラブル 来たか

アルル「『エリア内に3つのハンターボックスを設置した。』え！」

当麻「『残り140分になるとエリアに解き放たれ、その数は最大で9体となる。』これ以上増えたら逃げ切るやついなんじやないか！？」

ドラゴン放出を阻止するには緑の森のパーティーアークに設置された木箱の中に入っている銅貨を使い、ハンター・ボックスを封印しなければならない。』『銅貨？』

ミッショングループは、ハンター放出を阻止せよ！

エリア内の王の城、並木通り、町広場にハンターボックスが設置された。

ハンターは残り140分になるとエリアに解き放たれる。

ハンターボックスを封印するにはパーティー広場に設置された木箱の中に入っている銅貨をハンターボックスにセットし、封印しなければならない。

なのは「ミッショント…もちろん行くよ！」

当麻「行ってみますかねえ…。」

アルル「よーし、行こうつー。」

アミティ「行ってみるよー。」

魔理沙「ハンター増やしたくないからな！行くぜー！」

シグナム「おつ、パーティー広場…近いぞ！」

現在ミッショントに向かうのはこの6人。

シグ「ミッショント…興味無い…。」

レミリア「まだ大分残っている人数多いし…任せるわ…。」

ヴィータ「はあミッショント…んなもん行くわけねえだろ！あんなもんハンターに捕まるようなもんだろ！此処は任せる。だってリーダーとか美琴つてやつとかミッショントに積極的なやつがたくさん残つ

てるからなーあいつらがやつてくれんだなー。」

美琴「縁の森…」じつちね!」

ミッションに向かう御坂。

ハンター「…。」

しかし…ハンターが接近…。

美琴「早く…！ハンター！」

ハンター「…！」

見つかってしまった…。

美琴「速い…。」

驚異の身体能力で逃げる御坂。その逃げる先に…。

ルルー「あ、あの子…。」

ルルーだ。

美琴「ハンター来てるわよ!」

ルルー「ええ…？ちよつと何してんのよ…」

巻き添えを食らい、逃げるルルー。

美琴「はあ…はあ…。」

ルルー「ちょ、先に行かないでよ！」

御坂がルルーを追い抜き、ハンターの標的がルルーに変わった！

ルルー「速すぎるわよこいつ！なつ！？」

ルルー ポン  
ルルー 確保 残り 32人

ルルー「きい～！あの小娘～！私を追い抜くなんて～！許さないん  
だから～！」

巻き添えを食らつた…。

美琴「はあ…はあ…大丈夫かしら…。」

フェイト「確保情報…。『花園の丘にてルルー確保。』

シャマル「『残り32人。』…また捕まつたわ…。」

サタン「ルルーが捕まつてしまつたか…。」

シェゾ「何…？あいつ結構足速いぞ…それでも捕まつてしまつとは…。」

美琴「うわ…悪いことしたな…。」

シグナム「よし、パーティー広場に着いたぞ！」

一番乗りでパーティー広場に付いたのはシグナム。

シグナム「木箱木箱…これが…。」

ガタツ

シグナム「これをハンターボックスにはめて封印すればいいんだな。」

「

シグナム、ハンター放出を防ぐため、ミッショングに向かう…

シグ「むう…。」

現在、縁の森に隠れているシグ。

スタッフ「ミッショングにはいかないんですか？」

シグ「ミッシュロンは…。」

シグの目の前をハンターが通り過ぎた。

シグ「たぶん今動いていたら捕まつてたよ。だから任せる。」

ミッションに行く様子は無い…。

十六夜「縁の森…」じちですね…。」

ミッションに向かう十六夜。

十六夜「ハンターの放出は向としても阻止しませんと…。」

スバル「なほさんもミッションに行つてみると想つてでミッション行きます！」

「ちらりもミッションに向かうスバル・ナカジマ。

スタッフ「何で行くんですか？」

スバル「何もせずに捕まるよりは何かして捕まつた方が良いから…。

」

サタン「何だ何だ？ハンターつていざ探すと全然いないな…。」

冷凍銃を獲得しているサタン。しかし、ハンターが見つからない。

サタン「どこにいるのだ…。」

リデル「ハンター怖いです…。」

ハンター「ビビるリデル。その近くに…。」

ハンター「…。」

ハンター「…。」

リデル「…あつ、ハンターです！」

ハンター「…！」

見つかった…。

リデル「さや、さやああ～！」

逃げる先に…。

アルル「うわっ、サタン！何すごい物持つているの？」

サタン「おおー！アルルか！これはな、冷凍銃と言つてな…。」

アルルとサタンだ…。

リデル「た、助けてください！」

アルル「あ、ハンター！」

サタン「おお、ハンターが来たか…こっちに来いハンター！」

リデルがサタンとアルルを追い抜く。

アルル「うわ～ハンター来てる～！」

サタン「ふつ、お前、今すぐに此処から消えろ。そもそも…。」

ハンター「…。」

サタン「ふよ地獄行きだー喰らえ！」

プシュー！

ハンター 1体冷凍 ハンター 4体

サタン「ふう…どうだアルル、私がハンターを凍らせた勇姿はどう

だ？」

アルル「ありがとサタンー！」

サタン「あつ、行つてしまつたか…。」

リデル「あ、あの…。」

サタン「何だ？」

リデル「助けてくれてありがとうございますー！お兄様ーーー！」

サタン「あ、お兄様だとー？」

リデル「え、えへへ…。」

サタン「その呼び方、むずかゆいのだが…まあ今日は許してやる。」

リデル「あ、ありがとうございますー。」

サタン「でも次はやめてくれないか？」

リデル「分かりましたー！お兄様！あつ…。」

サタン「あのな…。」

インテックス「仲いいなー…。」

フラン「何？通達…。」

フェイト「『サタンが使った冷凍銃によりハンター1体が除外された。』『』

ドラゴ「えー？あいつやるなー！」

アリス「これで少しば楽になる…。」

シグナム「これがハンターボックスか…。」

並木通りのハンターボックスにたどり着いたシグナム。

シグナム「見た所此処にはめればいいんだな？」

そして、手に持っている銅貨をはめる。

シグナム「よし、あとまううして…。」

ガシャン！

ハンターボックス封印 残り2個

シグナム「よし、封印したぞ!」

シグナムによつてハンターボックスがひとつ封印された。

現在封印されてないのは2個。

現在の残り時間は145分21秒。

果たして、すべて封印されるのか!?

## MISSION? 1 (後書き)

なのは「サタン田立つてゐる。」

シゴ「あのおっさん田立つてゐるな……。」

フラン「田立つてゐるね～。」

## MISSZONE? 2 (前編)

すこません。

吊り橋じゃなくて跳ね橋でした。

謝りたねやま。

## MISSION? 2

エリア内にハンター ボックスが設置された。

残り140分までにハンター ボックスを封印しなければ、ハンターが解き放たれる。

現在シグナムが並木通りのハンター ボックスを封印し、残るは2個。果たして、すべてクリアできるのか！？

ウイッチ「誰か行ってるんですの？」

現在神秘の噴水付近にいるウイッチ。

ウイッチ「早く誰か行ってくれませんとハンターが出てしますわ！」

自分はミッションに行く気はない…。

魔理沙「パーティー広場着いたぜ！」

パーティー広場に着いた霧雨。

魔理沙「木箱はこれが！」

そして、木箱の中の銅貨を取る。

霧雨魔理沙 銅貨獲得

魔理沙「よつしゃーー。//シショソンクリアしてやるぜー。」

//シショソンに闘志を燃やす。

フューリ「先輩は行つてゐのかしら…。」

花園の丘にいるフューリ。

フューリ「一回電話してみるワ。」

ピリリリ…。

レムレス『やあフューリ。一体どうしたんだい？』

フューリ「あの…先輩は//シショソンに行つてゐるんですか？」

レムレス『そのことだけど…今ハンターが近くにいて動けないんだ。だから行きたくても行けないんだ。』

フューリ「そ、そつなんですか…。」

レムレス『近くにいるハンターがどこかに行つたら僕もハンターに行こうと思つんだ。』

フェーリ「そ、そつなんですか…先輩頑張つてください!」

レムレス『うん、フェーリも頑張つてね!』

ピッ!

フェーリ「…先輩のためにも頑張るワ…。」

フェーリ、ミッショソに向かう。

レムレス「うーん…ハンター中々行かないなあ…。」

レムレスはハンターに動きを制限されていた。

十六夜「着きました…。」

十六夜も銅貨を取りにきた。

十六夜「これですね…。」

十六夜咲夜 銅貨獲得

十六夜「早く行きませんと…。時間がありません…。」

はやて「ミッションは行動力のある人が行つてると思つたやけどな  
～。」

現在王の城にいるハ神。

はやて「いまさら行つても遅いと思つし…任せよっか…。」

現在残り時間は142分01秒。はやてのいる位置からパーティー  
広場に向かつても間に合わない。

当麻「此処がそうか…。」

パーティー広場にやつてきた当麻。

当麻「これが！」

上条当麻 銅貨獲得

当麻「やべえ！時間がねえ！あと2分もねえ！」

果たして、間に合つかー？

「誰か行つてゐるのかなー。」

ミッショーンに他人任せなドーラコ。

「早く封印してくれないかなー…。」  
しかし…。

ハンター「…。」

その近くに、ハンター…。

ドーラコ「電話して行かそつかな?」

ハンター「…。」

見つかった…。

「えーと…うわー…来てるーー!」

半竜半人のドーラコケンタウロス。果たして振り切れるのかー??

「うわああーー速いよーー!」

ポン

ドラゴンケンタウロス 確保 残り 31人

ドラゴ「うへえー：ハンター速すぎるよー…。」

魔理沙「ハンターボックスに着いたぜ！」

町広場のハンターボックスに着いた霧雨。

魔理沙「此處にセットして…おりやあーー！」

ガシャン！

ハンター ボックス 封印 残り2個

魔理沙「やつたぜ！」

残るは王の城のハンターボックスだけ…。

現在向かっているのは十六夜と上条だが近いのは十六夜の方！

その距離、200メートル！

果たして間に合つのか！？

ハンター放出まで1分…。

十六夜「はあ…はあ…。」

当麻「やばいな…今行つても無理か…。」

上条、ミッションを諦めた。

十六夜「間に合つのでしょうか…。」

ハンター放出まで30秒を切つた！

十六夜「…ハンターいませんね…。」

フラン「誰が行つてるのかな～？」

アリス「不味い…もうすぐ出放だよ…。」

ハンター放出まであと20秒。

十六夜「見えてきました！」

ハンターボックスに近づいてきた十六夜。

なのは「…あつ…不味い…。」

ヴィータ「誰か行つてねえのか?」

ハンター放出まで10。

9。

8。

7。

6。

5。

十六夜「着いた!セツトして...。」

4。.

十六夜「せーの……」

ガシャン！

ハンター ボックス 封印。

MISSION CLEAR

十六夜「や、やつました……。」

ピリリーピリリー！

リデル「メールです……。」

フラン「『シグナム、霧雨魔理沙、十六夜咲夜の活躍により、ハンターフィールド、放出は無し。』」

ヘミコア「やつてくれたのね……。」

靈夢「魔理沙すごいわね……。」

魔理沙「へつへーん！ どんなもんだぜ……。」

シャマル「皆さんすいですね…。」

ヴィータ「ほらなー行ってくれる奴がいただろー」  
「任せとけばいいんだよ。」

ミッションに全く無関心なヴィータ。

ヴィータ「知らない間にクリアしてくれるからいいもんだよなあ。」

インテックス「…ハンター…。」

ハンターを見つけたインテックス。

インテックス「離れとこ…。」

その場を離れる…。

インテックス「ふう…危ない危ない…。」

その先に…。

魔理沙「ミッションをクリアすると気分が良いな…。」

ミッションに貢献した霧雨。

インデックス「…ありさめだつたつけ？」

魔理沙「おう…そうだぜ？」

インデックス「ミシショソクリアできるなんですか」いね。

魔理沙「ま、このぐらに行けるぜ！」

インデックス「へ。」

ミシション？が終了し、残る逃走者は31人となつた。

しかしその後、逃走者たちにまた別の恐怖が襲つ…。

## MISSION? 2 (後書き)

ハンター放出の危機を逃れた逃走者たち。

しかし次回、逃走者にまた新たな恐怖が  
…！？

逃走者に新たなる危機！！ MISSHOZ? 1 (前書き)

ミッション?を無事クリアした逃走者たち。

しかし、また新たなる危機が！？

## 逃走者に新たなる危機！！ MISSION?1

スバル「ミッションに参加できなかつたのが悔しいな……。」

先ほどのミッションで活躍できなかつたスバル。

スバル「次のミッションは絶対に行くぞ！」

シグ「おお～…虫だ～。」

緑の森で未だに隠れているシグ。  
シグ「かっこいいな～…！」

しかし、ハンターを見つけた。

シグ「不味い…。」

身を隠すシグ。

ハンター「…。」

シグ「…。」

見つかからなかつたようだ…。

シグ「あ、危ない…。」

ティアナ「みんなよくやつてくれていいわね……。」

花園の丘の風車の陰に隠れるティアナ。

ティアナ「でも信用できなー……。」

ピココー・ピココー・

魔理沙「ん? アリスからだぜ?」

逃走者同士の通話は可能。

アリス『魔理沙! す、いじやんメールに名前載つてたよー。』

魔理沙「ああ……確かミシシヨンをクリアしたからだなー。」

アリス『へえー……す、るー……。』

魔理沙「まあお互い頑張ろうなー。」

アリス『うんーじゃあねー。』

ピッ！

アリス「魔理沙頑張つてるなあ……。」

シグナム「ミッショントー行けたな……。」

先ほどミッショントーに貢献したシグナム。

シグナム「次のミッショントーも頑張るぞ。」

そのころ、王国では……。

大臣（演・KAITO）「大変です！王様！」

国王（演・新川）「な、何事だー？」

大臣（演・KAITO）「現在この国に海賊が接近中ですー。」

国王（演・新川）「な、何だとー？」

大臣（演・KAITO）「さうこの国に海賊の接近がいるとの情報も……。」

国王（演・新川）「うつむ……。その海賊についての情報は無いのか？」

大臣（演・KAITO）「あ、はい！右腕に碇の模様があると……。」

国王（演・新川）「そうか……。」

大臣（演・KAHTO）「どうしましょつか…。」

国王（演・新川）「怪しい奴はひとついたわー。そして海賊のやつらも見つけたらひとつとらえるのだ！」

大臣（演・KAITO）「は、ははーー！」

国王（演・新川）ううむ。海賊か。

# 大臣（演：KAITO）－王様！－

國王（演：新川）——なんしゃ!? 房まできて……

この國で懐しい如きの巨體情勢が……

「國王（演・新川）――なるほど……今すぐには掲示板にそのやつらの顔の絵を張り、そのやつらの顔を書いた紙を国中に撒くのだ！」

大臣（演：KAITO）「は、ははーーー！」

バラバラバラバラ…。

民衆「何だ何だ！？」

住民1「この国に怪しい奴らが逃走中！？」

住民2「見つけた者は王の城までー?」

大臣（演・KAITO）「怪しい奴はすぐこいつとうえるんだ！」

兵士たち「ははーーー！」

この出来事が逃走者たちに新たな試練となつて降りかかる！

はやて「…え？何々？」

美琴「騎士たち？」

リデル「何か騒がしいです…。」

フェーリ「…何？王の城から紙が…。」

シグナム「怪しい奴らがこの国で逃走中！？」

サタン「一体何だこれは！？」

レニア「一体何なのよ…。」

ピコ…ピコ…。

レニア「何？メール？」

当麻「ミッシュン！来た来た…。」

靈夢「『現在』の国に海賊が接近中だ。『海賊？』

クルーケ「『この国で怪しい奴らの田撃情報が国王にどじだいため、エリアに50人の兵士が放たれた。』へ、兵士?」

フラン「『兵士は君たちを見つけると笛を吹き、笛の音を聞きつけたハンターが確保に向かう。』つわあー…。」

ティアナ「『さらに、君たちの顔が書かれた紙が国中に撒かれたため、住民が君たちを見つけると、騒ぎ出し、その騒ぎを聞きつけたハンターが確保に向かう。』」

シェゾ「『疑いを晴らすには王の城にいる王国と大臣に右腕を見せなければならない。』」

アリス「えーじゃあ絶対に動かなきゃいけないってことなんだ…。」

ヴィータ「…めんどくせー！」

ミッショング 疑いを晴らせ！

国王に海賊の情報が入ったため、怪しい者を探すためにエリアに50人の兵士と逃走者たちの顔が書かれた紙がばらまかれた。兵士は、逃走者たちを見つけると笛を吹き、笛の音を聞きつけたハンターが確保に向かう。

そして、国の住民が逃走者たちを見つけると、騒ぎ出し、その騒ぎを聞きつけたハンターが確保に向かう。疑いを晴らすには王の城にいる国王と大臣に右腕を見せなければならぬ。

レムレス「よし……じゃあ行くつか……。」

ヴィータ「めんどくせえ……。」

フユーリ「……このじやないの……。」

当麻「さすがにこれは……。」

アルル「……兵士だ……不味いよ~動けないよ~……。」

ウイッチ「早く行きませんと……。」

王の城に向かうウイッチ。だがそこには……。

兵士「……」

兵士だ……。

兵士「いたぞーー。」

ピーチ……

ウイッチ「不味いですわー見つかりてしまござましたわー。」

ハンター「……」

笛の音を聞きつけたハンターが確保に向かう！  
そして……。

住民1「こ、この人よ！」

住民2 「こいつだー！」

ウイツチ「騒ぐなですわ！」

住民に、  
顔を見られた……。

ハンター

ウイツチ「は、ハンターですか！」

ハンターに見つかった。

ポン

ウイツチ 確保 残り 30人

「ウイッシュ「もう…这儿にいるよ…ダメだ」つや…」

アリス「『兵士、住民の通報により、ウイツチ確保。残り30人。』」

クルーク「さつそく捕まつたよ…。」

シェゾ「動くと不味いな…。」

ヴィータ「ほらここつ・ミッションに動いたから捕まつたんだよ…。ミッションに動いて捕まるなんてアホなやつだなあ！」

はやて「おっ！此処から近いやん！」

偶然、王の城にいたはやて。

黒子「此処からあそこに行けば…。」

白井も同じく王の城にいたようだ。

はやて「あー…なあ王つてビックりおんねん…？」

黒子「そんなのわかりませんの…。」

向かう先に…。

国王（演・新川）「…。」

国王と大臣だ…。

黒子「…もしかして、あの人じゃあいませんの！？」

はやて「わらわや…多分あの人や…」

兵士1「…何者だ、お前ら…」

はやて「あつ、私ら座しこものじやないん…。」

黒子「あらへ」のかで…。」

はやて「あつ！確かリンク君ちやうへんでクロノ君、何してんの？」

兵士1（演・リンク）「リンク？誰だそれは？」

兵士2（演・クロノ・ハラウォン）「私たちは王をお守りする兵士だ！」

はやて「や、そつなんかいな…。」

国王（演・新川）「で、何しに来たのじやないん？」

はやて「あ、私たち怪しいもののじやないん…。」

国王（演・新川）「ならば右腕を見せるがよい。」

一人は右腕を見せる…。

国王（演・新川）「ふうむ…どうやら本當に違つよつだな。」

大臣（演・KAITO）「そのようですね。」

国王（演・新川）「疑つて悪かつた。」この免罪符を持つていぐがよい。

い。」

黒子「免罪符？」

国王（演・新川）「これを持つていれば兵士や住民に疑われる」と  
もなくなるだらう。」

黒子「分かりましたの。」

はやて「ありがとな～。」

八神はやて 白井黒子 免罪符獲得

はやて「いやあ～…よかつたわ…。」

黒子「これで少しは安心ですわね。」

はやて「…一兵士…」

二人は国王からもらつた免罪符を兵士に見せる。

兵士「…疑つてすまなかつた。」

はやて「おお…免罪符す”いなあ…。」

レムレス「急がないと……。」

フェイト「やだよ……捕まりたくないよ……。」

ラフィーナ「……どこから行けばいいのよ……。」

逃走者たちに降り注いだミッション2。

それによりさつそく一人が捕まってしまった。

果たして、逃走者たちは「」のミッションを無事にクリアできるのか！？

現在 残り時間 134分48秒 残る逃走者 30人

## 逃走者に新たなる危機！！ MISSION? 1 (後書き)

「」の城付近の一番難しい所は住民と兵士に見つかってしまう王の城に向かうことです。

王の城付近にいた人はいいんですがかなり離れた場所にいる人は危険度がかなり高まります。

いつも考えると緑の森と花園の丘にいた逃走者は不利かもしれません。

## MISSION? 2 (前書き)

果たして逃走者たちは//シジョンをクリアできるのか…? …ってか  
宝箱のこと忘れてた!

逃走者たち「おい。」

## MISSION? 2

疑いをかけられた逃走者たち。

疑いを晴らすには王の城の前にいる国王と大臣に右腕を見せなければならぬ。

現在2人がミッションをクリア。

果たして全員クリアできるのか！？

当麻「何で俺たちが疑いをかけられたんだ…？」

アミティ「王の城に行けばいいんだね！」

シェゾ「くつそ…。」

サタン「…あれだな…。」

王の城に着いたサタン。

サタン「お前がこの国の王か？」

国王（演・新川）「！？何者だお前は！？海賊の仲間か！？」

サタン「いや、違うな。」

大臣（演：KAITO）「なら右腕を見せて下さい。」

サタン「これでいいか？」

国王（演：新川）「…違うようだな…。疑つて悪かった。これを持つていれば騒がれることは無くなるだろう。」

サタン「ふつ、当たり前だ。」

サタン 免罪符獲得

サタン「この城の近くにいてよかつたな。」

シェゾ「ここか！」

フェーリ「着いたわ…。」

なのは「よかつた…。」

シェゾ、フェーリ、なのはの3人が王の城に着いた。

国王（演：新川）「なんだね君たちは？」

フーリ「私たちは怪しいものじゃない！」。

シェゾ「ああ、それを証明しに来た！」

大臣（演・KAITO）「だったら右腕を見せて下さー。」

フーリ「これでいい……？」

なのは「ほら。」

シェゾ「ほらよ。」

国王（演・新川）「…どうやら違つみたいだな…。ならこれを持つて行きなさい。」

シェゾ・ウイグイイ フーリ 高町なのは 免罪符獲得

なのは「ありがとう…。」

シェゾ「よしつークリアしたぞ！』

エリアには50人の兵士と逃走者たちを疑う住民たち。もちろん見つからないように移動するのは難しく…。

住民1「この人！怪しい人よ！』

フラン「何よー！」

フランガ…。

住民1「こいつだー！」

住民2「誰かー！」

スバル「怪しいものじやなこってばーー！」

スバルガ…。

兵士「見つけたぞーー！」

ピーッ！

ラフィーナ「笛を吹かないでほしいですわー！」

ラフィーナガ…。

兵士「こいつだーー！」

ピーッ！

靈夢「な、何よー！」

靈夢が見つかっている……。

アイク「くつそ～…。」

現在建物の影に隠れているアイク。

アイク「…～ハンター…。」

ハンターを見つけた…。

アイク「来るな…来るな…。」

ハンター「…。」

見つかからなかつたようだ…。

アイク「マジあぶねえ…。」

その後…。

アルル「よかつたよ…。」

フュイト「これでいいんだ…。でも何でお兄ちゃんが？」

レムレス「まずは一安心だね。」

アルル、フェイト、レムレスがミッションをクリア。

アルル・ナジヤ フェイト・T・ハラウォン レムレス 免罪符獲得

ティアナ「中々移動できない…。」

未だに移動できていないティアナ。

ティアナ「住民が…邪魔で…あつ…そつだ！」

何かを思いついたようだ。

ティアナ「住民は顔しか見てないんだから…。」

アリス「中々移動できないじゃん…。」

城下町にいるアリス。そこに…。

兵士「…！」

兵士…。

ピーッ！

アリス「えつ…？えつ…？」

見つかってしまった……。

アリス「不味い！早く移動しないと…。」

しかし。

ハンター「！」

その笛の音をハンターが聞きつけた。

アリス、ハンター来てないかな……。

ハンター

アリス「不味い！來てる！」

ハンターを見つけ、一目散に逃げるアリス。しかし、逃げ切れるわけもなく…。

ポン

アリス「もう…終わり…？」

兵士と住民に見つかればその音を聞きつけたハンターが確保へと向かう。

アリス・マーガトロイド 確保 残り 29人

レミリア「『城下町でアリス・マーガトロイド確保。残り29人。』

「

美琴「見つかってるのね…。」

シャマル「王の城に着きました…。」

王の城に来たシャマル。

シャマル「…あれ? 何で…。」

兵士2（演・クロノ・ハラウォン）「何だ? どうした?」

シャマル「い、いや…。」

国王（演・新川）「何しに来たんだ?」

シャマル「あ、私怪しいものじゃないんで…。」

国王（演・新川）「なら右腕を見せろ。」

シャマル「はい…。」

大臣（演・KAITO）「…この人も違つよつですね…。」

国王（演・新川）「そつか…ならこれを持つていがよい。」

シャマル「ありがとうございます。」

シャマル 免罪符獲得

現在、免罪符を獲得したのは…八神はやて、白井黒子、サタン、シエゾ・ウイグイイ、フェーリ、高町なのは、アルル・ナジャ、フェイト・T・ハラウォン、レムレス、シャマルの10人。

そして、クリアしていないのは…シグナム、ヴィータ、スバル・ナカジマ、ティアナ・ランスター、スネーク、アイク、博麗靈夢、霧雨魔理沙、十六夜咲夜、レミリア・スカーレット、フランドール・スカーレット、上条当麻、インデックス、御坂美琴、アミティ、シング、ラフィーナ、リデル、クルーケの19人。

果たして全員クリアできるのか…？

残り時間128分23秒 残る逃走者29人

## MISSION? 2 (後書き)

アイテム誰が取るかなあ……？

## MISSUHON? 3 (ミスホン?)

//シ ハンノ... まだまだ続きます。

つてかこいつ終わるのやい...。

## MISSION? 3

逃走者全員に海賊の疑いがかけられた。

疑いを晴らすには王の城にいる国王と大臣に右腕を見せなければいけない。

現在10人がクリア。

クリアできていないのは19人。

果たして全員クリアできるのか！？

当麻「…やべつ！住民いた！」

住民を見つけた上条。

当麻「中々移動できねえよ…」

動きを制限されている。

クルーケ「うう…動くか…。」

しぶしぶ移動を開始するクルーケ。

クルーク「何で僕らが疑いをかけられないといけないのさ…。」

スネーク「此処からどう移動するか…。」

慎重に行動するスネーク。

スネーク「見つかったらお終いだからな…。」

その近くに…。

リデル「うう…人がいっぱいいます…。」

リデルだ。

リデル「…はう…えっと…スネークさんですか?「こんな所で背を低くして何をしているんですか…?」

スネーク「ああ。ハンターに見つかれないように背を低くして行動しているんだ。」

リデル「そなんですか…。」

そこには…。

兵士「…。」

兵士が接近……。

ピーッ！

リデル「きやああーー！」

スネーク「不味い！逃げるぞー！」

バラバラに逃げる二人。

ハンター「……！」

近くにいたハンターが、笛の音を聞きつけた。

リデル「不味いです……！」

スネーク「ハンターいるのか……？」

ハンター「……！」

ハンターに見つかってしまったのは……。

リデル「……ハンターです……！」

リデルだ……。

リデル「キャアアーー！」

ポン  
リデル 確保 残り 28人

リデル「うう…残念です…」

スネーク「はあ…はあ…！」

スネークは偶然にも王の城に着いた。

国王（演・新川）「！なんだね君は？」

スネーク「俺は怪しいものじゃない。」

大臣（演・KAITO）「ならば右腕を見せて下さい。」

スネーク「こ…うか？」

国王（演・新川）「…どうやら君も違うようだな…分かった。これを持つていくがよい。」

スネーク 免罪符獲得

スネーク「ふう…なんとか疑いは晴らせたな。しかし…大丈夫なの

か…？

アルル「あつ！『リデル確保。残り28人。』だつて…。」

スネーク「あの後捕まつたか…。」

レムレス「皆クリアできているのかな…？」

他の逃走者たちを心配するレムレス。

レムレス「…？これは…。」

レムレスが見つけたのは…。

レムレス「宝箱…あつ、通達の…。」

宝箱だ。この宝箱は通達1の宝箱である。

レムレス「もうすぐ120分だし…取つておくか。」

その中身は…。

ガタッ

レムレス「…黒い…サングラス?」

中に入っていたのは『無敵サングラス』。これを使えば一分間、ハンターに追われなくなる。

レムレス「これはラッキーだね。さっそくもらっておこうかな。」

残る宝箱は1個!

シグナム「これは…。」

その宝箱をシグナムが見つけた。

シグナム「何だろう…。」

その中身は一体…。

ガタツ

シグナム「これは…双眼鏡?」

中に入っていた最後のアイテムは『双眼鏡』。これを使えば遠くにいるハンターも確認することができる。

シグナム「視野が狭くなるのは危険だが…無いよりはマシか?」

これで、すべてのアイテムが獲得された。

サタン「ほう…王の城、か…。」

王の城を眺めるサタン。

サタン「中々立派だが私が立てた私とアルルのスイートホームのD×サタン城と比べるとまだまだだな…。」

アミティ「此処だ! 王の城!」

十六夜「来れました…。」

インデックス「頑張つたらいけたよー。」

アミティ、十六夜咲夜、インデックスが王の城に到着。

国王(演・新川)「君たちは…。」

アミテイ「私たち、怪しいものじゃありません！」

大臣（演・KAITO）「じゃあ、右腕を見せて下さー。」

インデックス「はい。」

国王（演・新川）「……どうやら本当にうだな……。じゃあこれを……。」

十六夜「ありがとうございます……。」

アミティ 十六夜咲夜 インデックス 免罪符獲得

アミティ「クリアできたね！」

ミッションをクリアした3人に……。

ハンター「……！」

ハンターが接近……。

アミティ「ハンター来たよーーー！」

十六夜「こ、こんな時に……。」

ハンターが視界にとらえたのは……。

十六夜「いじりですか……。」

十六夜だ…。

十六夜「私も負けではござれません!」

建物角を利用して、ハンターとの距離を広げる。

ハンター「…?」

そして、ハンターを撒いてしまった。

十六夜「危なかつたですね……。」

そのハンターが…。

靈夢「あと少し…。」

博麗に接近！

靈夢「…！ハンター…。」

そして、見つかってしまった…。

靈夢「さすがにこれは…。」

ポン

博麗靈夢 確保 残り 27人

靈夢「あと少しの所まで来ていたんだけどね…。」

幻想郷で最強と言われる博麗、ニッショーンをクリアできず…。

インテックス「怖かつた…。」

アミティ「咲夜さん、大丈夫かな…？」

魔理沙「えつ！？靈夢が捕まつた！！」

アルル「残り27人だつて…。」

十六夜「此処から場所が近いですね…先ほどのハンターが…。」

ヴィータ「絶対に動かねえといけねえのかよ…。」

未だに動く気配のないヴィータ。

ヴィータ「もうクリアしている奴に連れて行ってもらおう…。」

誰かに電話をかける…。

ピコリーピコリー！

その相手は…。

シャマル『なんですか？電話してきて…。』

同じウォルケンリッターの一人、シャマルだ。

ヴィータ「シャマルか！ミッショーンはもうクリアしたのか？」

シャマル『え、ええ。もうクリアしましたよ。』

ヴィータ「だつたらあたしを王の城まで連れて行ってくれねえか？」

シャマル『えー？』

ヴィータ「あたしは城下町の宝石の館付近の草の茂みにいるからー。」

シャマル『ちよ、ちよつとい..』

ピッ！

シャマル「で、電話切れちゃった…。」

ヴィータ「自分で行くと見つかるからなー…。」

他力本願の、ヴィータ…。

シャマル「頼まれたら……行くしかないですよね……？」

ヴィータのもとに向かうシャマル。

シグ「……行くか……。」

シグは移動を始めた。

シグ「こっちの方向か……。」

アイク「よし！ 着いた！」

美琴「なんとかたどり着けたわ……。」

当麻「この俺だって頑張れば来れたぞ！」

アイク、御坂美琴、上条当麻が王の城に到着。

国王（演・新川）「君たちは……。」

アイク「海賊じゃないし怪しい者でもない！」

国王（演・新川）「では右腕を……。」

アイク「ほらよ。」

国王（演・新川）「この人たちも違うみたいだな…。では、これを…。」

アイク　御坂美琴　上条当麻　免罪符獲得

当麻「よつしゃ――――――」

美琴「大きな声出さないでくれる！？ハンターに見つかっちゃうんのよ…。」

当麻「す、すまん…。」

現在残り時間　118分26秒　残る逃走者27人

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7073x/>

---

僕の好きなアニメ＆ゲームのキャラで逃走中！～王国に迫る危機～  
2011年10月29日15時16分発行